

*MEIJI UNIVERSITY OF INTEGRATIVE MEDICINE*  
*GRADUATE SCHOOL OF ACUPUNCTURE & MOXIBUSTION*

**2017年度  
大学院 鍼灸学研究科  
学生募集要項**

明治国際医療大学 大学院

## 求める学生像

### アドミッション・ポリシー

#### 【鍼灸学研究科鍼灸学専攻】

鍼灸医学の学術に高い関心を持つ人を求めています。さらに、

- ① 高い倫理観と人を思いやる心を持ち、人との融和を大切にする人
- ② 科学的に究明しようとする研究心旺盛な人
- ③ 研究や臨床に粘り強く課題に取り組むことができる人
- ④ 鍼灸臨床において、より高度な専門性の修得を志向する人

#### 【鍼灸学研究科臨床鍼灸学専攻】

医療人としての生きがいと誇りを持ち、常に学び続ける意欲を持った人を求めています。さらに、

- ① 高度専門職業としての鍼灸臨床を究めようとする意欲と熱意の高い人
- ② 統合医療に強い関心を持ち、新しい医療の推進と発展に寄与する意欲的な人

を求めています。

# 目 次

鍼灸学専攻（修士課程）概要 . . . . .	1
• 教育課程および専攻分野別履修一覧表 . . . . .	3
• 特別研究テーマ . . . . .	4
臨床鍼灸学専攻（修士課程）概要 . . . . .	7
• 教育課程および専攻分野別履修一覧表 . . . . .	9
• 特別研究テーマ . . . . .	10
募集要項 . . . . .	11
鍼灸学専攻（博士後期課程）概要 . . . . .	16
• 教育課程および専攻分野別履修一覧表 . . . . .	17
• 特別研究テーマ . . . . .	18
募集要項 . . . . .	20
試験会場案内 . . . . .	24

# 鍼灸学専攻（修士課程）概要

## 〔目 的〕

鍼灸学専攻は、伝統鍼灸学、基礎鍼灸医学、臨床鍼灸学及びヘルスサイエンス鍼灸学の各分野における研究者としての資質及び研究能力を養うことを目的とします。

## 〔修業年限〕

標準修業年限は2年です。

## 〔専攻分野・研究内容〕

専攻分野は、Ⅰ．伝統鍼灸学 Ⅱ．鍼灸基礎医学 Ⅲ．鍼灸臨床医学 Ⅳ．ヘルスサイエンス鍼灸学 の4つに区分します。

### Ⅰ．伝統鍼灸学分野

医学古典や東洋医学の理論、経絡経穴学、四診法、伝統鍼灸学の治療法などに関する専門的な知識を学修するとともにそれらに関する研究を行う分野です。東洋医学の基礎、伝統鍼灸学などに関する特論（講義）、演習、研究法を学修し、特別研究において上記の研究課題を追求します。

### Ⅱ．鍼灸基礎医学分野

形態学、機能学、免疫学、薬理学に関する専門的な知識を学修するとともに鍼灸刺激の生体反応とその機序解明に関わる研究を行う分野です。形態学、機能学、免疫・生化学、薬理学、基礎鍼灸学（鍼灸理論や鍼灸技術）の特論（講義）、演習、研究法を学修し、特別研究において鍼灸刺激の生体反応およびそれらの作用機序などを追求します。

### Ⅲ．鍼灸臨床医学分野

鍼灸臨床と深く関わる疾患や症候に関する専門的な知識を学修するとともにそれらに対する鍼灸治療の臨床効果とその機序解明に関する研究を行う分野です。内科学、整形外科学、外科学、脳外科学、麻酔科学、泌尿器科学、内科系臨床鍼灸学、整形外科系臨床鍼灸学、外科系臨床鍼灸学の特論（講義）、演習、研究法を学修し、特別研究において上記の研究課題を追求します。

### Ⅳ．ヘルスサイエンス鍼灸学分野

スポーツ鍼灸、予防・未病医学、美容鍼灸、産業鍼灸・高齢鍼灸などの鍼灸医学の応用領域に関する専門的な知識を学修するとともにそれらの領域における鍼灸の有効性に関する研究を行う分野です。健康鍼灸学、スポーツ鍼灸学、加齢鍼灸学の特論（講義）、演習、研究法を学修し、特別研究においては上記の研究課題を追求します。

## 〔履修方法〕

### 1. 研究分野の選択の仕方

はり師・きゅう師の免許を有する者は、すべての専攻分野の選択が可能です。なお、はり師・きゅう師の免許を有しない者は、取得している免許、学位等に応じた専攻分野の選択が可能です。

### 2. 単位の修得の仕方

- (1) 基盤科目の特論 14 単位、実験研究法 2 単位、及び専門科目の特別研究 8 単位は必修とし、専門科目の指定された選択科目の中から実験研究法 2 単位以上、演習 4 単位以上を選択します。
- (2) 合計30単位以上を修得しなければなりません。

## 〔修了要件および授与される学位等〕

### 1. 修了要件

修士課程の修了要件は、在学年数 2 年以上、授業科目の取得単位数30単位以上とし、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査および最終試験に合格することとする。

### 2. 学 位

上記 1. の要件を満たした者に対し修士（鍼灸学）の学位を授与します。

### 3. 資 格

本研究科を修了した者は、はり師・きゅう師の学校（養成施設）における専門基礎分野および専門分野に関する科目の教員資格が認められています。ただし、教授できる授業科目については、原則として専攻した分野に関連する領域となります。

# 教育課程および専攻分野別 履修一覧表

## [鍼灸学専攻 修士課程]

科目区分	授業科目	授業を行う年次	伝統鍼灸学	鍼灸基礎医学	鍼灸臨床医学	ヘルスサイエンス鍼灸学	備考
			必修	必修	必修	必修	
授業科目の概要	統合医療学特論Ⅰ	1	2	2	2	2	修了に必要な単位は、必修科目24単位と専門科目の研究法2単位以上、演習4単位以上を選択し、合計30単位以上とする。
	統合医療学特論Ⅱ	1	2	2	2	2	
	最新鍼灸医学特論	1	1	1	1	1	
	学際領域鍼灸医学特論	1	1	1	1	1	
	基礎鍼灸医学特論	1	4	4	4	4	
	臨床鍼灸医学特論	1	4	4	4	4	
	実験研究法	1	2	2	2	2	
	伝統鍼灸学研究法	1	2				
	鍼灸基礎医学研究法	1		2			
	鍼灸臨床医学研究法	1			2		
	ヘルスサイエンス鍼灸学研究法	1				2	
	伝統鍼灸学演習	1・2	4				
	鍼灸基礎医学演習	1・2		4			
	鍼灸臨床医学演習	1・2			4		
	ヘルスサイエンス鍼灸学演習	1・2				4	
特別研究	1~2	8	8	8	8		
合計			30	30	30	30	

## 特別研究テーマ〔鍼灸学専攻 修士課程〕

平成 28 年 5 月 30 日現在

分 野	指導区分	特 別 研 究 テ ー マ
伝 統 鍼 灸 学	基礎鍼灸学Ⅰ (伝統鍼灸)	(1) 経絡（経筋）・経穴に関する文献的・臨床的研究 (2) 蔵象学説に関する文献的・臨床的研究 (3) 東洋医学の基礎理論に関する文献的研究 (4) 伝統理論に基づく鍼灸医学の診断に関する研究 (5) 伝統理論に基づく鍼灸治療に関する研究 (6) 医療概論および統合医療に関する文献研究・調査研究 (7) 統合医療における東洋医学診断・治療の有用性に関する研究 (8) 医学古典に関する文献的研究 (9) 伝統理論に基づく養生に関する研究
鍼灸基礎医学	解 剖 学	(1) 鍼灸刺激による皮膚組織の形態学的変化の研究 (2) 皮膚感覚受容器の機能学的・形態学的研究 (3) 筋組織機能発現に関わる遺伝子の解析 (4) 幹細胞を用いた運動器（腱、靭帯、筋）の再生治療における鍼灸の効果
	生 理 学	(1) 鍼灸刺激の末梢・中枢機序に関する神経生理学的解析 (2) 鍼灸の臨床評価に関する基礎的研究 (3) 実験的トリガーポイントに関する基礎的研究 (4) 運動誘発性酸化ストレスに対する基礎研究
	免疫・微生物	(1) 胸腺の機能・T細胞分化と鍼灸の効果 (2) 鍼灸により誘発される分子による免疫系細胞の活性調節 (3) 鍼灸による生体防御系の調節
	薬 理 学	(1) 鍼灸刺激に伴う細胞応答変化に関する研究 (2) 鍼灸による嗜好性変化に関する研究 (3) 漢方薬の治療効果に及ぼす鍼灸刺激の影響 (4) 生理活性物質の発現機序と鍼灸の効果
	基礎鍼灸学Ⅱ (基礎鍼灸)	(1) 経絡・経穴に関する機能学的検討 (2) 鍼灸刺激による鎮痛の機序に関する研究 (3) 鍼灸刺激効果の中枢機序に関する研究 (4) 自律機能（消化器、子宮、膀胱）に対する鍼灸刺激の効果の基礎研究 (5) 運動機能に対する鍼灸刺激の効果の研究 (6) 筋循環に対する鍼灸刺激の効果の研究 (7) 鍼灸刺激の特性と治療効果に関する基礎研究 (8) 鍼灸の安全性に関する研究
鍼灸臨床医学	内 科 学	(1) 呼吸器疾患（気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、特発性間質性肺炎）に対する鍼灸治療の臨床効果 (2) アレルギー疾患（気管支喘息、アトピー性皮膚炎など）に対する鍼灸治療の臨床効果 (3) パーキンソン病に対する鍼灸治療の臨床効果 (4) 糖代謝異常に対する鍼灸刺激の効果 (5) 消化機能（血流、運動、分泌）に対する鍼灸刺激の効果 (6) 原発性肺癌の発生と進展に関する研究
	整形外科学	(1) 関節リウマチに対する鍼灸治療の研究 (2) 筋疲労の解析と鍼灸による機能回復の効果の検討 (3) 鍼灸刺激が末梢神経機能に及ぼす影響 (4) 運動器疾患に対する圧痛点鍼灸治療

分野	指導区分	特別研究テーマ
鍼灸臨床医学	外科学	(1) 周術期の疼痛に対する鍼灸治療の効果に関する検討 (2) 周術期の消化管運動に対する鍼灸治療の効果に関する検討 (3) 外科的栄養管理における鍼灸治療の位置づけに関する検討 (4) 緩和医療における鍼灸治療の位置づけに関する研究
	脳神経外科学	(1) 磁気共鳴法による脳循環・代謝・機能の解析と鍼灸治療の中樞作用の検討 (2) 磁気共鳴法による筋組織の循環・代謝の解析と鍼灸作用の検討 (3) 脳神経疾患への鍼灸治療の検討 (4) 磁気共鳴法による鍼灸の治療効果の研究 (5) 頭痛に対する鍼灸の治療効果の研究
	麻酔科学	
	泌尿器科学	(1) 前立腺肥大症に対する鍼灸治療の研究 (2) 神経因性膀胱に対する鍼灸治療の研究 (3) 尿失禁に対する鍼灸治療の有用性に関する研究 (4) 夜間頻尿に対する鍼灸治療の研究 (5) 過活動膀胱に対する鍼灸治療の研究 (6) 男性更年期障害に対する鍼灸治療の研究 (7) 男性性機能障害に対する鍼灸治療の研究 (8) 男性不妊症に対する鍼灸治療の研究
	眼科学	(1) 再生医療を用いた角膜移植に関する先端医療開発 (2) 視機能、眼血流改善、視神経保護に関する鍼灸治療の研究
	臨床鍼灸学Ⅰ (内科系)	(1) 内科系領域の疾患に対する鍼灸治療の臨床効果に関する研究 (2) 臨床疫学的手法による調査研究 (3) 糖尿病における鍼灸治療の効果に関する臨床的・基礎的研究 (4) 肥満に対する鍼灸治療効果に関する臨床的・基礎的研究 (5) 糖尿病およびその合併症における鍼灸治療の臨床的・基礎的研究 (6) 循環器疾患に対する鍼灸治療の臨床的・基礎的研究 (7) メンタルヘルスケアにおける鍼灸治療に関する臨床的・基礎的研究 (8) 緩和医療における鍼灸治療に関する臨床的・基礎的研究
	臨床鍼灸学Ⅱ (整形外科系)	(1) 運動器系疾患および愁訴に対する鍼灸治療の臨床的・基礎的研究 (2) 再生医学（末梢神経、骨、腱、筋など）と鍼灸に関する臨床的・基礎的研究 (3) 筋弛緩と鍼灸に関する臨床的・基礎的研究 (4) バイオメカニクスの鍼灸治療に関する臨床的・基礎的研究



分 野	指導区分	特 別 研 究 テ ー マ
鍼灸臨床医学	臨床鍼灸学Ⅲ (外科系)	(1) 感覚器機能に対する鍼灸の作用機序の解明 (2) 慢性痛に対する鍼灸治療の効果と機序に関する研究 (3) 炎症性疼痛における鍼鎮痛機序の実験研究 (4) 月経痛に対する鍼灸刺激の効果の検討 (5) 月経不順に対する鍼灸刺激の効果の検討 (6) 更年期障害の症状および生理的変化に対する鍼灸刺激の効果の検討 (7) ストレス誘発性の生理的変化に対する鍼灸の作用 (8) 酸化ストレス防御機構に対する鍼灸刺激の基礎研究 (9) 鍼灸刺激の自律神経機能に及ぼす影響について (10) ヒトの胃電図、瞬時心拍数、皮膚交感神経機能などを指標とした鍼灸刺激の作用と機序 -ヒト自律機能に及ぼす鍼灸刺激の多次元解析- (11) 顎・口腔領域の症状に対する鍼灸治療の効果と機序に関する研究 (12) トリガーポイント（筋筋膜疼痛症候群）に関する基礎的・臨床研究 (13) 中枢神経系に対する鍼灸治療に関する効果と機序に関する研究 (14) 中枢感作症候群に対する鍼灸治療の効果と機序に関する研究
ヘルスサイエンス 鍼灸学	保健・老年 鍼灸学Ⅰ	(1) 各疾患に対する鍼灸刺激（治療）の予防的効果に関する基礎的、臨床的研究 (2) スポーツ傷害に対する鍼灸刺激の予防的効果及び臨床的効果に関する基礎的、臨床的研究 (3) スポーツ選手の運動パフォーマンスに関する基礎的、臨床的研究 (4) 心身のリラクゼーションに関する基礎的・臨床的研究 (5) 美容に関する基礎的・臨床的研究 (6) 鍼灸医療の産業医学的研究 (7) 伝統医学的ヘルスプロモーションに関する研究 (8) 養生学に関する研究 (9) 血圧・心機能に及ぼす鍼灸治療に関する研究 (10) 疲労に関する基礎的・臨床的研究
	保健・老年 鍼灸学Ⅱ	(1) 認知症、高齢者うつ病、パーキンソン病、COPD など高齢者疾患に対する鍼灸治療の効果に関する研究 (2) 高齢者の歩行や姿勢バランスに及ぼす鍼灸治療の効果に関する研究 (3) ロコモティブシンドローム、サルコペニア、フレイルに関する鍼灸治療の効果に関する研究 (4) 高齢者の健康の維持向上における鍼灸治療の効果に関する研究 (5) アンチエイジングにおける鍼灸治療の有用性に関する研究

# 臨床鍼灸学専攻（修士課程）概要

## 〔目 的〕

臨床鍼灸学専攻は、鍼灸臨床における高度な専門性を要する臨床能力を養うことを目的とします。

## 〔修業年限〕

標準修業年限は2年です。

## 〔専攻分野・研究内容〕

専攻分野は、内科系臨床鍼灸学、整形外科系臨床鍼灸学、外科系臨床鍼灸学、ウェルネス臨床鍼灸学です。

### I. 内科系臨床鍼灸学分野

主要な内科系疾患および症状について東西両医学の観点から学習を行い、臨床研究を通して、EBMによる鍼灸臨床について演習し、専門性を高めます。附属病院内科の外来及び病棟で東西統合型鍼灸臨床を実践するとともに臨床評価を行い、専門的診療能力を高めるとともに医師をはじめとする医療従事者との連携とチーム医療ができる基本的能力を修得できるようにします。

### II. 整形外科系臨床鍼灸学分野

主要な整形外科系疾患および症状について東西両医学の観点から学習を行い、臨床研究を通して、EBMによる鍼灸臨床について演習し、専門性を高めます。附属病院整形外科の外来及び病棟で東西統合型鍼灸臨床を実践するとともに臨床評価を行い、専門的診療能力を高めるとともに医師をはじめとする医療従事者との連携とチーム医療ができる基本的能力を修得できるようにします。

### III. 外科系臨床鍼灸学分野

主要な外科系疾患および症状について東西両医学の観点から学習を行い、臨床研究を通して、EBMによる鍼灸臨床について演習し、専門性を高めます。附属病院外科の外来及び病棟で東西統合型鍼灸臨床を実践するとともに臨床評価を行い、専門的診療能力を高めるとともに医師をはじめとする医療従事者との連携とチーム医療ができる基本的能力を修得できるようにします。

### IV. ウェルネス臨床鍼灸学分野

鍼灸臨床の応用領域であるスポーツ鍼灸、美容鍼灸、産業鍼灸、高齢鍼灸についての有用性と役割などについて学習を行い、臨床研究の文献などを通して、EBMによる鍼灸臨床について演習し、専門性を高めます。各領域の臨床現場で鍼灸臨床を実践するとともに臨床評価を行い、専門的診療能力を高めるとともにその領域の関係者との連携ができる基本的能力を修得できるようにします。

## 〔履修方法〕

### 単位の修得の仕方

- (1) 基盤科目の特論 7 単位、演習 2 単位、特別実習 8 単位、研究技法 2 単位、及び専門科目の特別研究 8 単位は必修とし、専門科目の指定された選択科目の中から特論 2 単位以上、演習 2 単位以上、特別実習 4 単位以上を選択します。
- (2) 合計35単位以上を修得しなければなりません。

## 〔修了要件および授与される学位等〕

### 1. 修了要件

臨床鍼灸学専攻（修士課程）の修了要件は、在学年数 2 年以上、授業科目の取得単位数 35 単位以上とし、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査および最終試験に合格することとする。

### 2. 学 位

上記 1. の要件を満たした者に対し修士（臨床鍼灸学）の学位を授与します。

### 3. 資 格

本研究科を修了した者は、はり師・きゅう師の学校（養成施設）における専門基礎分野および専門分野に関する科目の教員資格が認められています。ただし、教授できる授業科目については、原則として専攻した分野に関連する領域となります。

# 教育課程および専攻分野別 履修一覧表

## [臨床鍼灸学専攻 修士課程]

科目区分	授業科目	授業を行う年次	臨床鍼灸学系	整形外科学系	外科鍼灸学系	ウェルネス	備考
			必修	必修	必修	必修	
授 業 科 目 の 概 要	統合医療学特論Ⅰ	1	2	2	2	2	修了に必要な単位は、必修科目27単位と専門科目の特論2単位以上、演習2単位以上、特別実習4単位以上を選択し、合計35単位以上とする。
	統合医療学特論Ⅱ	1	2	2	2	2	
	臨床鍼灸学特論Ⅰ	1	1	1	1	1	
	臨床鍼灸学特論Ⅱ	1	1	1	1	1	
	伝統鍼灸学特論	1	1	1	1	1	
	臨床鍼灸学演習	1	1	1	1	1	
	伝統鍼灸学演習	1	1	1	1	1	
	附属鍼灸センター特別実習	1	4	4	4	4	
	附属病院特別実習	1	4	4	4	4	
	臨床鍼灸研究技法	1	2	2	2	2	
	内科系臨床鍼灸学特論	1	2				
	整形外科系臨床鍼灸学特論	1		2			
	外科系臨床鍼灸学特論	1			2		
	ウェルネス臨床鍼灸学特論	1				2	
	内科系臨床鍼灸学演習	2	2				
	整形外科系臨床鍼灸学演習	2		2			
	外科系臨床鍼灸学演習	2			2		
	ウェルネス臨床鍼灸学演習	2				2	
	附属病院内科系特別実習	1・2	4				
附属病院整形外科系特別実習	1・2		4				
附属病院外科系特別実習	1・2			4			
ウェルネス臨床鍼灸学特別実習	1・2				4		
特別研究	1~2	8	8	8	8		
合計			35	35	35	35	

## 特別研究テーマ〔臨床鍼灸学専攻 修士課程〕

平成 28 年 5 月 30 日現在

分 野	指導区分	特 別 研 究 テ ー マ
内 科 系 鍼 灸 臨 床 学	内 科 学	(1)内科系疾患、特に呼吸器系疾患及び症状に対する鍼灸治療に関する研究 (2)内科系疾患、特に消化器系疾患及び症状に対する鍼灸治療に関する研究 (3)内科系疾患、特にパーキンソン病に対する鍼灸治療に関する研究
	臨床鍼灸学Ⅰ (内科系)	(1)心身医学系疾患及び症状に対する鍼灸臨床に関する研究 (2)循環器系疾患と症状、特に胸痛に対する鍼灸臨床に関する研究 (3)代謝疾患及び症状に対する鍼灸臨床に関する研究 (4)呼吸器疾患及び症状に対する鍼灸臨床に関する研究
整 形 外 科 系 鍼 灸 臨 床 学	整形外科学	(1)整形外科系疾患及び症状に対する鍼灸臨床に関する研究
	臨床鍼灸学Ⅱ (整形外科系)	(1)運動器系疾患と症状に対する鍼灸臨床に関する研究
外 科 系 鍼 灸 臨 床 学	外 科 学	(1)外科系疾患及びその症状に対する鍼灸臨床に関する研究
	脳神経外科学	(1)脳外科系疾患及び症状に対する鍼灸臨床に関する研究
	泌尿器科学	(1)泌尿器科系疾患及び症状に対する鍼灸臨床に関する研究
	眼科学	(1)眼科系疾患と症状に対する鍼灸臨床に関する研究
	臨床鍼灸学Ⅲ (外科系)	(1)痛みのマネジメントに対する鍼灸治療の臨床研究 (2)自律神経機能に対する鍼灸臨床に関する研究 (3)泌尿器科系疾患及び症状に対する鍼灸臨床に関する研究 (4)外科系疾患及び症状に対する鍼灸臨床に関する研究 (5)歯科における鍼灸臨床に関する研究 (6)耳鼻・眼科系の感覚器領域の症状に対する鍼灸臨床に関する研究 (7)女性のライフステージにおける鍼灸臨床に関する研究 (8)慢性疾患(中枢感作症候群：線維筋痛症・機能的胃腸症など)に伴う不定愁訴に対する鍼灸治療の臨床的研究 (9)頭・頸部および中枢神経系の症状に対する鍼灸臨床に関する研究
ウ エ ル ネ ス 臨 床 鍼 灸 学	保健・老年 鍼灸学Ⅰ	(1)統合医療における鍼灸臨床に関する研究 (2)スポーツ傷害及び症状に対する鍼灸臨床に関する研究 (3)産業医学における鍼灸臨床に関する研究 (4)健康維持増進および未病医療における鍼灸臨床に関する研究
	保健・老年 鍼灸学Ⅱ	(1)要介護・要支援高齢者に対する鍼灸治療の臨床的研究 (2)高齢者の運動機能低下・障害に対する鍼灸治療の臨床的研究 (3)高齢者のうつ・認知症に対する鍼灸治療の臨床的研究 (4)パーキンソン病や COPD など高齢者疾患に対する鍼灸治療の臨床的研究 (5)ロコモティブシンドローム、サルコペニア、フレイルに関する臨床的研究 (6)アンチエイジングとしての鍼灸治療の臨床的研究 (7)アトピー性皮膚炎、気管支喘息などアレルギー疾患に対する鍼灸治療の臨床的研究

## 修士課程募集要項

### 1. 募集人員（修業年限2年）

研究科名	専攻名	募集人員
鍼灸学研究科	鍼灸学専攻	8名
	臨床鍼灸学専攻	8名

(注) 入学定員にかかわらず、本大学院の目的および趣旨に鑑み成績・人材等が相応しくない者は入学を許可しない。

### 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、又は平成29年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、又は平成29年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、又は平成29年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により、大学院に入学した者であって、本大学院において教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳以上のもの

(注) 上記 (8) (9) に基づき出願を希望する者は、あらかじめ本学入試事務室までお問い合わせください。なお、本大学院において入学資格審査の実施を希望する者は、入学試験の出願開始日の1カ月前までに当該審査の受審申請が必要です。

備考: 臨床鍼灸学専攻の出願の条件は、はり師並びにきゅう師免許を有する者、又は平成29年4月取得見込みの者とする。(入学許可後において、はり師ならびにきゅう師免許を取得できない者は、入学許可の取り消しを行う。)

### 3. 試験日程等

#### 1) 試験日程・会場

試験区分	出願期間	試験日	試験会場
一 次	28年8月15日(月) ～8月26日(金)	28年9月3日(土)	明治国際医療大学 〔京都府南丹市〕
二 次	29年1月9日(月) ～1月20日(金)	29年1月28日(土)	京都府中小企業会館 〔京都市右京区〕
三 次	29年2月20日(月) ～3月8日(水)	29年3月13日(月)	ホテル京都エミナース 〔京都市西京区〕

(注) 先の募集において定員を充足した場合には、募集は実施しない。

#### 2) 合格発表・入学手続締切日

試験区分	合格発表	入学手続締切日
一 次	28年9月16日(金)	28年10月7日(金)
二 次	29年2月10日(金)	29年3月3日(金)
三 次	29年3月17日(金)	29年3月31日(金)

#### 3) 合格発表について

本学3号館前掲示板に掲示、及び特設ホームページにて発表するとともに、本人宛書面にて通知する。なお、電話等による問い合わせには一切応じない。

### 4. 出願手続き

#### 1) 出願書類等

書 類 等	摘 要
入 学 願 書 票	注意事項をよく読んで記入すること
成 績 証 明 書	出身学校長作成のもので開封無効
卒 業 ( 見 込 ) 証 明 書	出身大学において作成したもの
は り 師 ・ き ゅ う 師 免 許 証 写 し	臨床鍼灸学専攻を志願する者に限る ただし、平成29年4月取得見込みの者は登録済証明書を後日 提出し免許証交付後、直ちに提出すること (A4版に縮小)
受 験 者 調 査 票	自筆で記入すること
入 学 検 定 科	入学検定料納付書に必要事項を記入の上、銀行振込み、郵便 為替または現金にて納付すること
受 験 票 送 付 用 封 筒	380円切手を貼付のうえ、必要事項を記入すること
そ の 他	入試事務室で必要と認める書類

(注) 外国籍者については、在留資格を確認できる書類(外国人登録済証明書又は入国査証の写しのいずれか)を提出すること

## 2) 出願手続き

消印有効とします。

郵送の場合：必ず「簡易書留」扱いとしてください。

持参の場合：本学 入試事務室受付まで持参してください。

※ 受付時間 午前9：30～午後4：00（土・日・祝除く）

## 3) 出願書類の提出先及び照会先

〒629-0392 京都府南丹市日吉町

明治国際医療大学 入試事務室 電話 0771-72-1188（直通）

## 5. 選考試験

### 1) 科目・配点

試験科目等	出題領域	配点
専門科目	専門基礎分野（基礎医学・臨床医学） 専門分野（基礎鍼灸学・臨床鍼灸学）	100点
外国語	英語（辞書持込み可）	100点
口頭試験	すべての分野から試問	100点

注1. 「専門科目」は、「基礎医学」から2問、「臨床医学」「基礎鍼灸学」「臨床鍼灸学」から各1問の計5問が出題され、そのうち2問を選択のうえ解答する。

注2. 持込み可能な辞書は、和英・英和・英英辞典に限る（電子辞書等不可）。

なお、次のいずれかの条件を満たす場合は、「外国語」を免除します。

(1) 実用英語技能検定準1級以上

(2) IELTS アカデミックモジュール5.0点以上

(3) TOEFL Internet-based Testing 61点（Paper-based Testing 500点）以上のスコア

(4) TOEIC 600点以上のスコア

### 2) 試験時間

#### 1次・2次募集

9:30～9:40	9:40～10:40	10:40～10:50	10:50～11:50	13:00～※
受験上の説明	専門科目	休憩	外国語	口頭試験

#### 3次募集

9:50～10:00	10:00～11:00	11:00～11:10	11:10～12:10	13:00～※
受験上の説明	専門科目	休憩	外国語	口頭試験

※口頭試験の開始時間は、予告なく変更する場合があります。

## 6. 選考方法

入学者の選考は、筆記試験、出身大学作成の調査書(成績証明書)および口頭試験の結果を総合して可否を判定する。



## 7. 受験にあたっての留意点

---

- (1) 受験者は必ず受験票を携帯し、筆記試験場では机の上に置いて試験監督者の照査を受けること。
- (2) 試験開始20分前までに筆記試験場に入場すること。特別の事由により試験に遅刻した者は係員に申し出ること。
- (3) 試験開始後20分を経過すると入場できない。

## 8. 入学手続き等

---

### 1) 入学手続き

所定の期日迄に次の書類と学納金を納入して下さい。

[提出書類] ①誓約書(本学所定のもの)

- ②写真 1枚
- |   |              |
|---|--------------|
| } | ・縦3cm×横2.5cm |
|   | ・上半身・正面・無帽   |
|   | ・撮影後3カ月以内のもの |

(注) 詳細については、合格通知送付の際、書面を同封します。

### 2) 学納金

区 分	1年次 所要経費		2年次 所要経費	
	入学時納入	後期納入	前期納入	後期納入
入 学 金	500,000 円	—	—	—
授 業 料	600,000 円	600,000 円	600,000 円	600,000 円
計	1,100,000 円	600,000 円	600,000 円	600,000 円

※1. 教育振興会費 20,000 円を入学手続き時に別途徴収します。

※2. 学校法人明治東洋医学院の設置する学校の出身者には、入学金を減免します。

### 3) 入学検定料 30,000円

### 4) 奨学金制度等

#### 1. 日本学生支援機構

第一種奨学金(無利息貸与) 月額50,000円または88,000円

第二種奨学金(有利息貸与) 月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円  
の5種類から貸与額を選択できます。

#### 2. 明治東洋医学院奨学金

第一種奨学金(給付) 月額10,000~50,000円

第二種奨学金(無利息貸与) 月額10,000~50,000円

[奨学金の追加貸与]

本学院第二種奨学生及び日本学生支援機構その他の奨学生を対象として月額25,000円以内で奨学金を追加貸与することができます。

#### 3. ティーチング アシスタント (TA) 制度があります。

## 9. その他

---

- (1) 出願書類に不備がある場合には、受付をしないことがあるので十分注意してください。
- (2) 一旦提出された出願書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還いたしません。

- (3) 受験のための宿舎、旅館等の紹介は行っておりません。
- (4) 身体の障がいのため、受験の際、特別な配慮を必要とする者は、出願の前に申し出てください。
- (5) 学生募集要項等に関して、不明な点等がある場合には、本大学院入試事務室に照会してください。

# 鍼灸学専攻（博士後期課程）概要

## 〔目 的〕

本研究科博士後期課程は、鍼灸医学分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の専門的な業務に従事するに必要な能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とします。

## 〔修業年限〕

標準修業年限は3年です。

## 〔専攻分野・研究内容〕

専攻分野は、Ⅰ．伝統鍼灸学 Ⅱ．鍼灸基礎医学 Ⅲ．鍼灸臨床医学の3つです。

### Ⅰ．伝統鍼灸学分野

医学古典や東洋医学の理論、経絡経穴学に関する研究、四診法に関する研究、伝統鍼灸学の臨床などに関する教育、研究を行う分野です。東洋医学基礎、伝統鍼灸学などに関する特論（講義）、演習、特別研究を行い、東洋医学の基礎分野の科学化および臨床に関する科学的根拠を追求します。

### Ⅱ．鍼灸基礎医学分野

鍼灸医学の基礎を教育、研究する研究分野です。形態学、機能学、免疫・生化学、薬理学などに関する特論（講義）、演習、特別研究を行い、鍼灸刺激の生体反応とその作用機序などを追求します。

### Ⅲ．鍼灸臨床医学分野

疾患や症候に対する鍼灸治療の臨床効果とその科学的根拠、予防医学・健康維持増進に関する鍼灸治療の効果とその科学的根拠などに関する教育、研究を行う分野です。現代医学、予防医学、伝統鍼灸学、臨床鍼灸学、健康鍼灸学、スポーツ鍼灸学、加齢鍼灸学などに関する特論（講義）、演習、特別研究を行い、鍼灸治療の科学的根拠あるいは臨床効果の作用機序を追求します。

## 〔履修方法〕

### 1. 研究分野の選択の仕方

はり師・きゅう師の免許を有する者は、すべての専攻分野の選択が可能です。なお、はり師・きゅう師の免許を有しない者は、取得している免許、学位等に応じた専攻分野の選択を可能とします。

### 2. 単位の修得の仕方

- (1) 特論2単位、演習2単位、特別研究8単位は必修です。
- (2) 合計12単位を修得しなければなりません。

## 〔修了要件および授与される学位等〕

### 1. 修了要件

博士後期課程の修了要件は、在学年数3年以上、授業科目の取得単位数12単位以上とし、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格することとします。

### 2. 学位

上記1. の要件を満たした者に対し博士（鍼灸学）の学位を授与します。

### 3. 資格

本研究科を修了した者は、はり師・きゅう師の学校（養成施設）における専門基礎分野および専門分野に関する科目の教員資格が認められています。ただし、教授できる授業科目については、原則として専攻した分野に関連する領域となります。

# 教育課程および専攻分野別 履修一覧表

[鍼灸学専攻 博士後期課程]

授業科目の概要	専攻	分野	授業科目	授業を行う年次	単位数	伝統鍼灸学	鍼灸基礎医学	鍼灸臨床医学
						必修	必修	必修
	鍼灸学	伝統鍼灸学	伝統鍼灸学特論	1	2	2		
			伝統鍼灸学演習	1	2	2		
			伝統鍼灸学特別研究	1・2・3	8	8		
	鍼灸基礎医学	鍼灸基礎医学	鍼灸基礎医学特論	1	2		2	
			鍼灸基礎医学演習	1	2		2	
			鍼灸基礎医学特別研究	1・2・3	8		8	
	鍼灸臨床医学	鍼灸臨床医学	鍼灸臨床医学特論	1	2			2
			鍼灸臨床医学演習	1	2			2
			鍼灸臨床医学特別研究	1・2・3	8			8

## 特別研究テーマ〔博士後期課程〕

平成 28 年 5 月 30 現在

分 野	指導区分	特 別 研 究 テ ー マ
伝統鍼灸学	基礎鍼灸学 I (伝統鍼灸)	(1) 医学古典に関する文献学的研究 (2) 臓象学説に関する実証的（臨床的）研究 (3) 経絡（経筋）・経穴に関する実証的（臨床的）研究 (4) 伝統理論に基づく鍼灸医学診断システムの実証的（臨床的）研究 (5) 伝統理論に基づく鍼灸医学治療システムの実証的（臨床的）研究 (6) 伝統理論に基づく養生の実証的（臨床的）研究
鍼灸基礎医学	解 剖 学	(1) 鍼灸刺激による皮膚組織の形態学的変化の研究 (2) 皮膚感覚受容器の機能学的・形態学的研究 (3) 筋組織機能発現に関わる遺伝子の解析 (4) 幹細胞を用いた運動器（腱、靭帯、筋）の再生治療における鍼灸の効果
	生 理 学	(1) 鍼灸刺激の内因性鎮痛機序に対する作用の神経生理学的、行動学的解析 (2) 鍼灸刺激の生体調節系に対する作用の神経生理学的、行動学的解析 (3) 鍼灸刺激のポリモーダル受容器仮説の実験的検証 (4) 鍼の特異的効果の実験的検証
	免疫・微生物学	(1) 胸腺と T 細胞機能への鍼灸の効果 (2) 鍼灸によって誘発される因子を介する免疫系調節機構
	薬 理 学	(1) 鍼灸刺激に伴う脳内生理活性物質の発現変化に関する研究 (2) 薬物依存治療における鍼灸治療の可能性に関する研究 (3) 各種病態発現に関わるリスクファクターの変化から見た鍼灸治療の有効性に関する研究
	基礎鍼灸学 II (基礎鍼灸)	(1) 経絡・経穴に関する機能学的研究 (2) 鍼灸刺激による鎮痛の機序に関する研究 (3) 鍼灸刺激効果の中樞機序に関する研究 (4) 自律機能（消化器、子宮、膀胱）に対する鍼灸刺激の効果の基礎研究 (5) 運動機能に対する鍼灸刺激の効果の研究 (6) 筋循環に対する鍼灸刺激の効果の研究 (7) 鍼灸刺激の特性と治療効果に関する基礎研究
鍼灸臨床医学	内 科 学	(1) 慢性閉塞性肺疾患に対する鍼灸治療の効果と治効機序について (2) 気管支喘息に対する鍼灸治療の効果と治効機序について (3) アレルギー性疾患（アトピー性皮膚炎など）に対する鍼灸治療の効果と治効機序について (4) パーキンソン病とパーキンソン症候群に対する鍼灸治療の臨床的效果 (5) 消化機能に及ぼす鍼灸刺激のメカニズムの検討 (6) 鍼刺激による血糖降下作用の機序の検討 (7) 原発性肺癌の発生と進展に関する研究
	整形外科学	(1) 関節リウマチに対する鍼灸治療の研究 (2) 末梢神経障害における鍼灸治療の研究 (3) 運動器疾患に対する鍼灸治療効果の研究 (4) ツボ・トリガーポイントにおける圧痛点の特性
	外 科 学	(1) 周術期の疼痛に対する鍼灸治療の効果に関する検討 (2) 周術期の消化管運動に対する鍼灸治療の効果に関する検討 (3) 外科的栄養管理における鍼灸治療の位置づけに関する検討 (4) 緩和医療における鍼灸治療の位置づけに関する研究
	脳神経外科学	(1) 鍼灸診断学における神経系の役割について (2) 磁気共鳴法による鍼灸中枢作用の検討 (3) 磁気共鳴法による鍼灸の運動器への作用の検討 (4) 磁気共鳴法による鍼灸の作用機序の研究 (5) 頭痛に対する鍼灸の作用機序の研究

分野	指導区分	特別研究テーマ
鍼灸臨床医学	泌尿器科学	(1) 頻尿・夜間頻尿に対する鍼灸治療の臨床的実験的検討 (2) 過活動膀胱に対する鍼灸治療の研究 (3) 夜間頻尿に対する鍼灸治療の有用性に関する研究 (4) 慢性前立腺炎・骨盤痛症に対する鍼灸治療の研究 (5) 男性更年期障害に対する鍼灸治療の研究 (6) 男性性機能障害に対する鍼灸治療の研究 (7) 男性不妊症に対する鍼灸治療の研究
	眼科	(1) 鍼灸の眼科領域への応用に向けた科学的根拠のある鍼灸作用の研究 (2) 免疫特権部位としての眼を活用した鍼灸作用の研究
	臨床鍼灸学	(1) 泌尿器領域の鍼灸に関する研究 (2) 耳鼻・眼科系の感覚器領域に対する鍼灸刺激の基礎的および臨床的研究 (3) 顎・口腔領域における鍼灸治療の基礎的・臨床的研究 (4) 痛みの病態や鍼灸の治効機序に関する基礎的・臨床的研究 (5) 痛みの予防（養生・セルフケア）に関する基礎的・臨床的研究 (6) ヒト自律神経機能に及ぼす鍼灸刺激の多次元的解析 (7) 胃腸の電気活動異常と鍼灸刺激によるその調律機構の解析 (8) 身体的・心理的ストレス誘発性の生理的変化に対する鍼灸の作用と機序 (9) トリガーポイント（筋筋膜疼痛症候群）に関する基礎的・臨床的研究 (10) 中枢疾患（脳・脊髄疾患）に対する鍼灸治療の基礎的・臨床的研究 (11) 月経痛および月経不順に対する鍼灸刺激の効果と機序 (12) 更年期障害の症状および生理的変化に対する鍼灸刺激の効果と機序 (13) 運動器系疾患および愁訴に対する鍼灸治療の臨床的、基礎的研究 (14) 再生医学（末梢神経、骨、腱、筋など）と鍼灸に関する臨床的・基礎的研究 (15) 筋弛緩と鍼灸に関する臨床的・基礎的研究 (16) 鍼灸刺激の神経機能に及ぼす影響について (17) 代謝系疾患（肥満・糖尿病）に対する鍼灸刺激の効果とその機序に関する研究 (18) 消化器疾患に対する鍼灸刺激の効果とその治効機序に関する研究 (19) 循環器系疾患に対する鍼灸刺激の効果とその機序に関する研究 (20) 心の病（メンタルヘルス）に対する鍼灸刺激の効果とその機序に関する臨床的・基礎的研究 (21) 緩和医療における鍼灸刺激の効果とその機序に関する臨床的・基礎的研究
	保健・老年鍼灸学Ⅰ	(1) 各疾患に対する鍼灸刺激（治療）の予防的効果に関する基礎的、臨床的研究 (2) スポーツ傷害に対する鍼灸刺激の予防的効果及び臨床的効果に関する基礎的、臨床的研究 (3) 心身のリラクゼーションに関する基礎的・臨床的研究 (4) 美容に関する基礎的・臨床的研究 (5) 疲労に関する基礎的・臨床的研究
	保健・老年鍼灸学Ⅱ	(1) 認知症、高齢者うつ病、パーキンソン病、COPD など高齢者疾患に対する鍼灸治療の治効機序に関する研究 (2) 高齢者の歩行や姿勢バランスに及ぼす鍼灸治療の効果と作用機序に関する研究 (3) ロコモティブシンドローム、サルコペニア、フレイルに関する鍼灸治療の効果に関する研究 (4) 高齢者の健康の維持向上における鍼灸治療の効果に関する基礎的臨床研究 (5) アンチエイジングにおける鍼灸治療の有効性と治効機序に関する研究

# 博士後期課程募集要項

## 1. 募集人員（修業年限3年）

研究科名	専攻名	募集人員
鍼灸学研究科	鍼灸学専攻	4名

(注) 入学定員にかかわらず、本大学院の目的および趣旨に鑑み成績・人材等が相応しくない者は入学を許可しない。

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者又は平成29年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位(学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下この条について同じ。)に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で24歳以上のもの

(注) 上記(6)に基づき出願を希望する者は、あらかじめ本学入試事務室までお問い合わせください。なお、本大学院において入学資格審査の実施を希望する者は、入学試験の出願開始日の1カ月前までに当該審査の受審申請が必要です。

備考:1) 鍼灸臨床医学分野を志願する者は、はり師ならびにきゅう師免許を有する者、または平成29年4月取得見込みの者とする。(入学許可後において、はり師ならびにきゅう師免許を取得できない者は、東洋医学基礎あるいは鍼灸基礎医学への分野変更、または入学許可の取り消しを行う。)  
2) はり師・きゅう師免許を有さない者で本大学院を志願する者は、鍼灸医学の隣接科学を専攻した者であることが望ましく、指導教員と調整のうえ、取得している免許、学位等に応じた専攻分野の選択とする。

## 3. 試験日程等

### 1) 試験日程・会場

試験区分	出願期間	試験日	試験会場
一次	28年8月15日(月) ～8月26日(金)	28年9月3日(土)	明治国際医療大学 〔京都府南丹市〕
二次	29年1月10日(月) ～1月20日(金)	29年1月28日(土)	京都府中小企業会館 〔京都市右京区〕
三次	29年2月20日(月) ～3月8日(水)	29年3月13日(月)	ホテル京都エミナース 〔京都市西京区〕

(注) 先の募集において定員を充足した場合には、募集は実施しない。

## 2) 合格発表・入学手続締切日

試験区分	合格発表	入学手続締切日
一 次	28年9月16日(金)	28年10月7日(金)
二 次	29年2月10日(金)	29年3月3日(金)
三 次	29年3月17日(金)	29年3月31日(金)

## 3) 合格発表について

本学3号館前掲示板に掲示、及び特設ホームページにて発表するとともに、本人宛書面にて通知する。なお、電話等による問い合わせには一切応じない。

## 4. 出願手続き

### 1) 出願書類等

書 類 等	摘 要
入 学 願 書 票 受 験	注意事項をよく読んで記入すること
研 究 業 績 一 覧	注意事項をよく読んで記入すること
修 士 の 学 位 取 得 ( 見 込 ) 証 明 書	出身大学の学長または研究科長が作成したもの ただし、大学院修士課程修了以外の資格で出願を希望する者についてはその資格を確認できる書類
成 績 証 明 書	出身学校長作成のもので開封無効
修士論文の写し、または これに代わるべき 業績の写し	修士課程の修了論文またはこれに代わるべき業績の写し(別刷等)を提出する
修 士 論 文 等 概 要	800字程度で記入すること
希望する研究計画の概要	800字程度で記入すること
受 験 票 送 付 用 封 筒	380円切手を貼付のうえ、必要事項を記入すること
は り 師 ・ き ゅ う 師 免 許 証 写 し	平成29年4月取得見込みの者は登録済証明書を後日提出し免許証交付後、直ちに提出すること(A4版に縮小)
受 験 者 調 査 票	自筆で記入すること
入 学 検 定 科	入学検定料納付書に必要事項を記入の上、銀行振込み、郵便為替または現金にて納付すること
そ の 他	入試事務室で必要と認める書類

(注) 外国籍者については、在留資格を確認できる書類(外国人登録済証明書又は入国査証の写しのいずれか)を提出すること

### 2) 出願手続き

消印有効とします。

郵送の場合：必ず「簡易書留」扱いとしてください。

持参の場合：本学 入試事務室受付まで持参してください。

※ 受付時間 午前9:30～午後4:00(土・日・祝除く)



### 3) 出願書類の提出先及び照会先

〒629-0392 京都府南丹市日吉町  
明治国際医療大学 入試事務室 電話 0771-72-1188 (直通)

## 5. 選考試験

---

### 試験時間及び科目・配点

#### 1次募集・2次募集

時 間	試験科目等	配 点
9:40 ~ 10:40	専門科目 (筆記試験) 志望する専攻分野のコースの研究課題に関連する科目を解答する	100点
10:50 ~ 11:50	外国語 (筆記試験) 英 語 (辞書持込み可)	100点
13:00 ~ ※	口頭試験 志望の動機、研究計画及び専攻分野に関する事	100点

#### 3次募集

時 間	試験科目等	配 点
10:00 ~ 11:00	専門科目 (筆記試験) 志望する専攻分野のコースの研究課題に関連する科目を解答する	100点
11:10 ~ 12:10	外国語 (筆記試験) 英 語 (辞書持込み可)	100点
13:00 ~ ※	口頭試験 志望の動機、研究計画及び専攻分野に関する事	100点

(注) 持込み可能な辞書は、和英・英和・英英辞典に限る (電子辞書等不可)。

なお、次のいずれかの条件を満たす場合は、「外国語」を免除します。

- (1) 実用英語技能検定準1級以上
- (2) IELTS アカデミックモジュール5.0点以上
- (3) TOEFL Internet-based Testing 61点 (Paper-based Testing 500点) 以上のスコア
- (4) TOEIC 600点以上のスコア

※口頭試験の開始時刻は、予告なく変更する場合があります。

## 6. 選考方法

---

入学者の選考は、筆記試験、出身大学作成の調査書(成績証明書)および口頭試験の結果を総合して可否を判定する。

## 7. 受験にあたっての留意点

---

- (1) 受験者は必ず受験票を携帯し、筆記試験場では机の上に置いて試験監督者の照査を受けること。
- (2) 試験開始20分前までに筆記試験場に入場すること。特別の事由により試験に遅刻した者は係員に申し出ること。
- (3) 試験開始後20分を経過すると入場できない。

## 8. 入学手続き等

### 1) 入学手続き

所定の期日迄に次の書類と学納金を納入して下さい。

[提出書類] ①誓約書 (本学所定のもの)

②写真 1枚

}	・縦3cm×横2.5cm
	・上半身・正面・無帽
	・撮影後3カ月以内のもの

(注) 詳細については、合格通知送付の際、書面を同封します。

### 2) 学納金

区 分	1年次 所要経費		2年次以降 所要経費	
	入学時納入	後期納入	前期納入	後期納入
入 学 金	500,000 円	—	—	—
授 業 料	600,000 円	600,000 円	600,000 円	600,000 円
計	1,100,000 円	600,000 円	600,000 円	600,000 円

※1. 教育振興会費 30,000 円を入学時納入時に別途徴収します。

※2. 学校法人明治東洋医学院の設置する学校の出身者には、入学金を減免します。

### 3) 入学検定料 30,000円

### 4) 奨学金制度等

#### 1. 日本学生支援機構

第一種奨学金 (無利息貸与) 月額80,000円または122,000円

第二種奨学金 (有利息貸与) 月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円  
の5種類から貸与額を選択できます。

#### 2. 明治東洋医学院奨学金

第一種奨学金 (給付) 月額10,000～50,000円

第二種奨学金 (無利息貸与) 月額10,000～50,000円

第三種奨学金 (給付) 月額30,000円

[奨学金の追加貸与]

本学院第二種奨学生及び日本学生支援機構その他の奨学生を対象として月額50,000円以内で奨学金を追加貸与することができます。

#### 3. ティーチング アシスタント(TA)制度があります。

## 9. その他

- (1) 出願書類に不備がある場合には、受付をしないことがあるので十分注意してください。
- (2) 一旦提出された出願書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還いたしません。
- (3) 受験のための宿舎、旅館等の紹介は行っておりません。
- (4) 身体の障がいのため、受験の際、特別な配慮を必要とする者は、出願の前に申し出てください。
- (5) 学生募集要項等に関して、不明な点等がある場合には、本大学院入試事務室に照会してください。

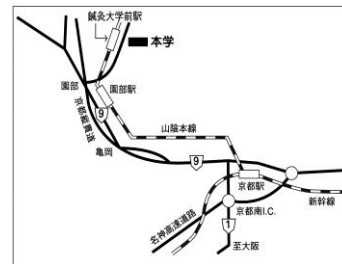
# 試験会場案内

## 明治国際医療大学

京都府南丹市日吉町 TEL. 0771-72-1188

(交通)

J R京都駅から山陰本線(嵯峨野線)で「鍼灸大学前」駅下車(約60分)  
ただし、途中の園部駅で乗り換えが必要な場合があります。  
※車での来校も可能です



## 京都府中小企業会館

京都市右京区西院東中水町17番地(西大路五条下ル東側)

TEL. 075-314-7171

(交通)

- ・ 阪急西院駅より(南に徒歩15分)
- ・ 市バス 西大路五条下車、徒歩1分
- ・ J R京都駅より 市バス 西大路花屋町下車、徒歩1分
- ・ J R丹波口駅より徒歩約13分



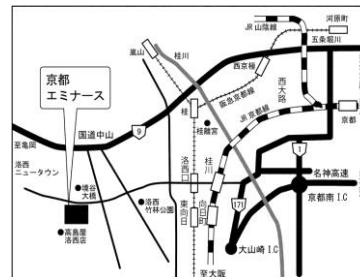
## ホテル京都エミナース

京都府京都市西京区大原野東境谷町2-4(洛西ニュータウン内)

TEL. 075-332-5800

(交通)

- ・ 阪急京都線桂駅西口より市営バス西1、西2、西5で約13分、境谷大橋下車
- ・ 阪急京都線洛西口駅より市営バス西4で約10分、境谷大橋下車
- ・ ヤサカバス・京都交通バス・阪急バスもあります。
- ・ J R京都駅正面より市営バス33で約35分、境谷大橋下車、タクシー約25分
- ・ J R桂川駅より市営バス、ヤサカバスで約9分、境谷大橋下車





明治国際医療大学  
Meiji University of Integrative Medicine

### 個人情報の取扱いについて

大学案内の請求や入学試験の出願にあたってお知らせ頂いた氏名、住所、その他の個人情報は、厳重かつ適切な管理の下、次の目的で利用致します。

- ①大学案内、オープンキャンパス、進学相談会等の大学情報の提供
- ②入学試験にかかる業務
- ③入学に伴う業務
- ④入学後、学校事務に関する業務

なお、無断でこの目的以外に個人情報の利用又は第三者に開示、提供致しません。

◆ 詳細お問い合わせ ◆

〒629-0392 京都府南丹市日吉町  
明治国際医療大学 入試事務室 TEL.0771-72-1188 (直通)  
<http://www.meiji-u.ac.jp/>